2024 年度事業報告書

法人の名称　　特定非営利活動法人フードバンク湘南

1　事業の成果

昨年度から続く物価高や光熱費の高騰は落ち着くことはなく、主な支援対象であるひとり親家庭・生活困窮者の生活はより厳しくなりフードバンクとしての役割が重要となる 1 年でした。

支援世帯数　　6895　件
食品寄贈量　　40.1　トン

そのような中で大枠として下記の取り組み・成果をあげました。詳細は次項目（事業内容）に掲載しています。

A)　フードドライブの広がり
B)　困窮世帯への継続的支援、クリスマスケーキ配布
C)　広報活動増
D)　フードパントリーの定期実施

2　事業内容

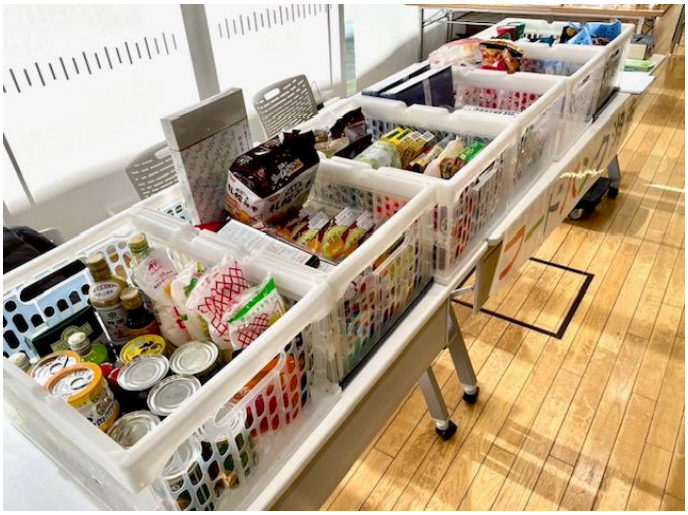
⑴　特定非営利活動に関わる事業

Ⅰ　フードバンク事業に関わる事業
Ⅰ－（ア）　フードドライブ事業①～⑤
総括：2024 年度のフードドライブで集まった食品の総重量は　2.1 トン　でした。

①平塚市役所フードドライブ
開催日：2024 年 4/17, 5/15, 6 /12, 7/10, 7/20, 7/21, 8/21, 9/11, 10/16, 11/13, 12/11,
　　2025 年 1/8, 2/19, 3/12　　計 14 回

今年度も平塚市役所環境部の協力の元、市役所 1 階の会場を借りてフードドライブ活動を開催することができました。来場者の多くは市の広報誌やホームページを見た方が多かったように思います。
毎回フードバンク湘南のボランティアスタッフが出向いて活動や団体について説明をしています。その成果もあ

り個人のリピーターが増えてきたように感じます。



（写真上段）市役所フードドライブの様子　（写真下段）集まった食品

②ラスカ平塚フードドライブ
開催日：2024 年 8/23, 10/11,
　　2025 年 1/16,　　計 3 回

ラスカ平塚店と協力して今年度から始まった事業になります。ラスカ 5 階イベントスペースをフードドライブ会場として活動しました。初回は周知が行き届いていないようでしたが 2 回目は実に初回の 3 倍もの食品が集められました。店内の各階にフードドライブの大きなポスターを掲示していただいたり、チラシも配架してくださったことがたくさんの方に繋がったのだと実感しています。活動の応援をしたいと多くの方から募金もいただけたことは活動の励みになりました。
企業様の力をお借りしてこのような場を設けられたことは当団体にとっても大きな一歩で、今後も SDGs の同じ目標に向かって活動をおこなっていきたいと思います。

（写真上段）ラスカフードドライブの様子　（写真下段左）告知ポスター掲示、（右）集まった食品の様子

③ファミリーマートフードドライブ
開催日：2025 年 1 月開始、回収ボックスは常設

コンビニエンスストアのファミリーマートが平塚市内 10 店舗においてフードドライブ活動を開始しました。食品の回収ボックスを店内に常設し、協力パートナーとしてフードバンク湘南に寄贈していただけることになりました。活動は始まったばかりですが、集まった食品は主にひとり親家庭に届く流れになります。
支援を必要としている方と家庭のフードロス削減の両方向でフードバンク湘南と SDGｓの目標が共通しているため合意に至りました。

（写真３枚）平塚市内のファミリーマートフードドライブの様子

④公民館等施設でのフードドライブ
開催日：通年

平塚市内の福祉会館数か所では常設のフードドライブ活動を行い、フードバンク湘南へ寄付していただいています。

（写真）市内福祉会館フードドライブで集まった食品

⑤市内各所フードドライブ
開催日：通年

（1）企業様が独自で開催しているフードドライブがあります。「フードドライブ月間」を設けて一般の方を対象にしたものから企業内従業員に向けて行われたフードドライブもあります。中でもアイデアに感心したのは市内のパチンコ店ではお客様を巻き込んで景品の一部であるお菓子に限りフードバンク湘南に寄付をしてくださるという取り組みです。店長さんに活動内容をお伝えして、主に「子ども応援プロジェクト」の時期にお菓子を届けていただけていることは子ども達の笑顔に繋がり、活動の意義を共有できていると思います。

（2）また、今年度は小学校・PTA との取り組みもあり、若者の力を目の当たりにできたのも新鮮でした。小学校 PTA の新たな活動として SDG s に目を付けていただけたことで若い世代への周知へ繋がることが期待できます。プレスリリース配信内容→　https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000009.000140076.html

（3）平塚市立富士見小学校ふれあいフェスタにてフードドライブのブースを設けていただきました。その際、以前からお手伝いをしてくれている湘南白百合学園中学高等学校のＢＷＢクラブというボランティアチームの学生の皆さんにも参加していただきました。学生さん達は事前にフードドライブやフードロスの事を模造紙 4 枚にまとめて持ってきてくださり、イベントに来た子供たち（主に小学生）に SDGs に関するゲームやクイズを出してくれるなどフードバンク湘南の一員となっていただけました。

（写真 3 枚）パチンコ店の取り組み、集まったお菓子

（写真左）平塚市立相模小学校フードドライブの様子
（写真右）相模小学校からフードバンク湘南事務所へ届けられたフードドライブで集まった食品

（写真２枚）ふれあいフェスタにて協力してくれた学生さん

（写真下段２枚）企業独自で開催していただいたフードドライブの食品

Ｉ－（イ）フードバンク事業
総括：SDGｓパートナー企業登録数３７社、その他食品の寄付等で支えられました。

市内外の企業や個人・団体からの寄付食品等を「フードバンク業務管理システム」を利用して管理し、支援を必要とする家庭・団体等へ配布します。当団体活動日は基本毎週火・木・金曜日、ボランティアスタッフの力で成り立っています。
また令和５年度からフードバンクとしての自立を目的とした休眠預金事業が始まり、資金面で応援してもらえる企業を増やすためＤＭ送付等を行っています。毎年成果を感じていますが今年度が事業最終年度になるため、更に成果を出せるよう活動をおこなっていきます。
そのような中で三菱 UFJ 銀行平塚支店様に活動の賛同を得られたことで寄付金をいただき、当団体に登録するひとり親家庭 130 世帯へクリスマスケーキの配布ができたことは大きな喜びとなりました。また、クリスマスケーキ受け取り店舗としてしまむらストアーの平塚市内７店舗にもご協力いただきました。様々な活動を通し多くの企業様と連携できたことは次年度以降の活動にも繋がると思っています。
プレスリリース配信内容→　https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000008.000140076.html

（写真）子ども応援プロジェクトに配布するお菓子袋、各家庭の支援食品

（写真左）
クリスマスケーキ喫食時の様子

（写真下段）クリスマスケーキ配布後のお礼の手紙

Ⅱ　困窮世帯等の就業支援に関わる事業
総括：今年度は平塚市在住の２名を合計６か月間受け入れました。

平塚市では生活困窮者自立支援事業の一環として就労準備支援事業「はたらっく・ひらつか」を実施していますが、その体験プログラム先としてフードバンク湘南が選ばれることがあります。様々な理由で就労経験が少ない、働くことが困難な方等がフードバンク湘南で活動を通して収入を得られる機会を創出しています。就労体験を終えた方々がその後、社会に出て生活をしていらっしゃることを耳にすると嬉しい気持ちとやりがいも感じます。次年度以降も引き続き受け入れ態勢をとっていく次第です。

Ⅲ　廃棄物の削減および廃棄物のリユース、リサイクル、清掃に関わる事業
総括：食品関連業者に限らず、主に平塚市内に営業活動で繋がる企業様が出てきました。

フードバンクを利用することで企業の食品ロスの削減もしくは廃棄物をリユースすることを提案し、SDGｓの目標に近づけるよう営業活動に力を入れました。

廃棄されるはずであった食品や野菜等が寄付され、フードバンク湘南の利用者へと配布されることはお互いのためであり、当団体の掲げた SDG s の目標に近づく事業であったように思います。
中でも JA 全農 営業・技術センターが、研究開発のために育てられ形が不揃いの市場に出回らないナスを廃棄せずにフードバンクへ寄付をしていただけたことは昨今の野菜の価格高騰には嬉しいものとなりました。毎回新鮮なうちに宅急便で配送していただき、フードバンク湘南の利用者や子ども食堂等へお渡しできたことは良かったと思います。
更に、平塚市外のスーパー数店舗からは販売できなくなったお米や食品等も寄付していただけることになりました。お米の価格も高騰したまま値下がりがないので利用者には喜ばれており本当に助かりました。このようにして、活動内容に理解を示していただける企業が増えているように感じた一年でした。

（写真左）研究のためのナス　（写真右）エスパティオ小和田店のお米の寄付

Ⅳ　子ども食堂等の親子、地域コミュニティの支援に関わる事業
Ⅳ－（ア）子ども食堂
総括：今年度は新たな取り組みとして、ラスカ平塚店と協力して子ども食堂を計 1 回開催しました。

子ども（基本的に 18 歳未満）とその保護者を対象に、身近な地域で食を通して交流をする場を設けます。今回 JR 平塚駅直結の駅ビル「ラスカ平塚」で子ども食堂の運営から協力して開催する運びとなりました。飲食店街の 1 店舗が食事準備・配膳を持ち回りで担当する形で、廃棄予定の食品がシェフの力で生まれ変わってプレートに並びました。
この事業は年間 6 回を予定しており、ラスカ飲食店のフードロス削減とフードバンク湘南に登録しているひとり親家庭への食の支援事業という事でお互いに協力していく流れとなります。
初回は春休み平日とあり保護者の仕事の終業時間の兼ね合いが難しかったように思いました。毎回終えるごとに

フィードバックを重ねながら次回以降より良い開催内容となるよう協議をしてまいります。
プレスリリース配信内容→https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000010.000140076.html

（写真）全て「らすかひらつかこども食堂」の様子

Ⅳ－（イ）フードパントリー
総括：今年度は平塚市福祉会館とフードバンク湘南事務所にて計 13 回開催しました。

ひとり親世帯や生活に困窮している世帯に対し無料で食品を配布するイベントを開催しました。
物価高により多くのひとり親世帯や生活困窮世帯では家計が苦しいと聞きます。より多くのフードパントリーの開催を試みるものの、フードバンク湘南の食品の在庫が減少傾向にあり大規模なフードパントリーを開催することが難しくなった一年でもありました。物価や光熱費の上昇は企業の生産バランスにも影響し、寄付が減少した

ことも否めませんでした。

（写真上段）ひとり親世帯と生活困窮者向けのパントリーの様子、たくさんのボランティアスタッフに助けられています。
（写真下段）事務所のパントリーの様子、冷凍食品等を配布しました。

Ⅴ　経済活動活性化を目的としたマッチングに関わる事業
総括：フードバンク湘南を支援してくださる企業と企業を繋ぎ、新たな取引をスタートさせるお手伝いをします。
「フードバンク業務管理システム」が新たな企業同士のマッチングとなるようお手伝いをしました。

Ⅵ　食品、日用品などの販売事業

総括：他団体からの委託を受けたもの、当団体の所有物や製作したものの販売を行います。

今年度は団体Ｔシャツのデザイン作成までで販売には至りませんでした。来年度の販売を予定しています。

各事業の支出額

各事業名	支出額
フードドライブ事業	72,712 円
フードバンク事業	11,641,231 円
困窮世帯等の就業支援に関わる事業	23,240 円
廃棄物の削減および廃棄物のリユース、リサイクル、清掃に関わる事業	10,000 円
こども食堂	2,314 円
フードパントリー	80,752 円
経済活動活性化を目的としマッチングに関わる事業	10,000 円
食品、日用品などの販売事業	0
事業費計	11,840,249 円